



仕様書

品名: ネットワークカード

型式: SC22

オムロン ソーシャルソリューションズ株式会社

IoT ソリューション事業本部

品名 ネットワークカード	型式 SC22	貴社仕様書番号
用途 ネットワーク経由での UPS の管理		
添付図面		
なし		
特記事項 本製品は、日本国内専用品です。 <ul style="list-style-type: none"> 日本国外の電源には対応しておらず、日本国外での使用は故障、火災の原因となることがあります。また、日本国外の法規制には対応していません。 日本国外への輸出および日本国外での使用は、お客様の判断と責任の下で行われるものとし、当社は一切の責任を負いません。 お客様の判断により本製品を輸出(個人による携行を含む)される場合は、外国為替及び外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。 		
無償保証期間 購入日より3年間		
変更経歴 本書の記載内容が変更された場合には、以下に記載いたします。 ※ 記載内容に変更がある場合、仕様書番号の末尾も改正符号と同じ符号となります。		
改正符号	日付	説明
A	2023/7/6	初版

目次

1. はじめに	P4
2. 免責事項(ご承諾事項)について	P5
3. 本製品について	P6
4. UPS への取付け	P8
5. 主な機能と概要	P9
6. ネットワーク設定	P10
7. 安全上のご注意	P11

1. はじめに

本書には本製品を安全にご使用いただくために必要なことを記載していますので、設置やご使用される前に必ずお読みください。

- 本書は、必要なときはいつでも確認できるようにしておいてください。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複製、転載することは禁止されています。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 保証書は、本製品に同梱されています。
- 本書に記載しているイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書に使用している本体のイラストは、対象型式のいずれかを使用しています。各型式で共通の場合は、型式を記載していないことがあります。
- 最新の取扱説明書およびセットアップガイドを当社ホームページからダウンロードできます。

登録商標について

- **Windows** は米国 **Microsoft Corporation** の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他、各会社名、各社製品名は各社の商標または登録商標です。

2. 免責事項(ご承諾事項)について

- 本書に記載の使用条件、環境などを遵守してください。本製品が故障または発煙、発火、けがなどの事故に至る恐れがあります。

- 人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置などについては、システムの多重化、非常用発電設備など、運用維持、管理について特別な配慮が必要となります。
特に信頼性の要求される重要なシステムなどへの使用に際しては、オムロン電子機器カスタマサポートセンターへご相談ください。

- 本製品は、コンピュータなどの OA 機器もしくは FA 機器に使用することを目的に設計・製造されています。以下のような、極めて高い信頼性や安全性が要求される用途には使用しないでください。
 - ・ 人命に直接かかわる医療機器やシステム
 - ・ 人身の損傷に至る可能性のある用途。(航空機、船舶、鉄道、エレベータなどの運行、運転、制御などに直接関連する用途)
 - ・ 車載、船舶など常に振動が加わる可能性がある用途。
 - ・ 故障すると社会的、公共的に重大な損害や影響を与える可能性のある用途。
(主要な電子計算機システム、幹線通信機器、公共の交通システムなど)
 - ・ これらに準ずる機器、用途

- 本書に記載の安全上のご注意を含む設置から運転までの手順を守らなかったことによって生じた損害、本製品に起因する他の装置・接続機器・ソフトウェアの異常、故障その他の二次的な損害、その他の本製品によって生じた損害(事業利益の損失、事業中断、情報の損失またはその他の金銭的損害を含む)の賠償および補償には応じかねます。

- 本製品は故障により意図せず機能が停止する可能性があります。不測の事態に備え、データの保護やシステム冗長化などの対処をしてください。

- 本製品を第三者に譲渡・売却する場合は、本製品に添付されている書類などすべてのものを本製品に添付の上、譲渡してください。本製品は添付書類など記載の条件に従うものとさせていただきます。

- 本製品は、日本国内専用品です。
 - ・ 日本国外の電源には対応しておらず、日本国外での使用は故障、火災の原因となることがあります。また、日本国外の法規制には対応しておりません。
 - ・ 日本国外への輸出および日本国外での使用は、お客様の判断と責任の下で行われるものとし、当社は一切の責任を負いません。
 - ・ お客様の判断により本製品を輸出(個人による携行を含む)される場合は、外国為替及び外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。

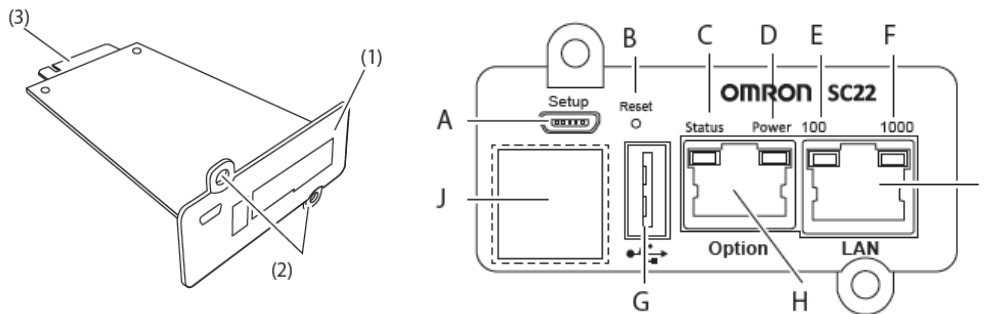
- この装置は、VCCI クラス B 準拠機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-B 準拠

3. 本製品について

【同梱品】

品名	説明	個数
SC22(本体)	本製品です。	1 枚
Micro-USB ケーブル	Setup ポートに接続します。	1 個
使用上の注意事項	本製品を使用する上での注意事項を記載しています。	1 枚
保証書	本製品の保証書です。	1 枚
製品番号ラベル	製品番号が記入されています。	2 枚

【各部の名称と機能】



各部の名称
(1) ブラケット
(2) 固定ねじ穴
(3) 接続端子

部位	名称	説明
A	Setup ポート	設定用ポート(MicroUSB)/本製品付属の USB ケーブルをご使用ください。
B	Reset ボタン	本製品を再起動します。
C	Status ランプ	※本製品では使用しません。 ランプが点滅しますが意味はありません。
D	Power ランプ	緑色/通信ができる状態になると点灯します。
E	100 Link/Active	黄色/点灯:100M
F	1000 Link/Active	緑色/点灯:1000M
G	USB ポート	指定の対応無線 LAN アダプタ、USB メモリを接続します。
H	Option ポート	※本製品では使用しません。
I	LAN ポート	LAN ケーブルを接続してください。 ※1000Base-T で接続してご使用いただく場合は、CAT5e 以上の LAN ケーブルをご使用ください。
J	QR コードラベル	オムロン UPS の Web サイトにアクセスできます。製造番号も記載されています。

【仕様】

ネットワーク	1000Base-T / 100Base-TX / 10Base-T
USB	タイプ A(無線 LAN アダプタ/USB メモリ用) 本ポートを充電用途に使用しないでください。 (注意) また、100mA を超える電流が必要な USB 機器を接続しないでください。
	MicroUSB (コンソール設定用)
プロトコル	SNMP、HTTP、HTTPS、SSH、Telnet、ICMP、SMTP、Modbus TCP など
MIB	SWC2(独自:SC22 専用)
	UPS MIB(RFC1628)
使用環境温度/湿度	-10～55℃ / 10～90%RH (無結露)
保管環境温度/湿度	-20～55℃ / 10～90%RH (無結露)
最大消費電力	3W
	6W(USB 使用時)
外形寸法(W×D×H)	60×130×19 mm
本体質量	約 65g
ノイズ規制	VCCI クラス B(準拠)

【対応機器・ソフトウェア】

対応 UPS

当社の製品ページなどをご確認ください。

ブラウザ

Google Chrome、Microsoft Edge、Safari、Firefox

※ ご使用されるブラウザのバージョンによっては、表示された画面の一部が重なったりする場合がありますが、機能などの設定する動作には影響はありません。

対応無線 LAN アダプタ

TP-Link TL-WN725N, TL-WN823N

接続可能 USB メモリ仕様

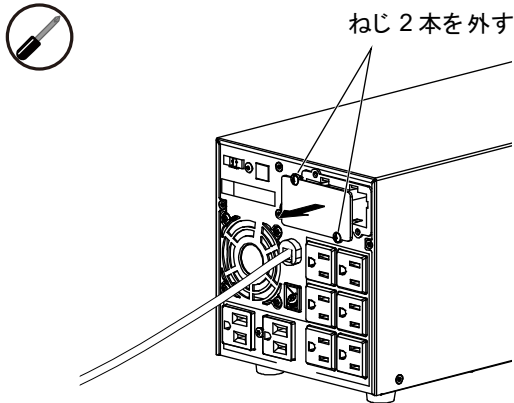
- ・ USB 2.0 / 3.0
- ・ 500mA 以下
- ・ 4.75～5.25V(5.0V ±5%)

※ アダプタなどにより USB 変換したメモリなどのご利用いただけません。

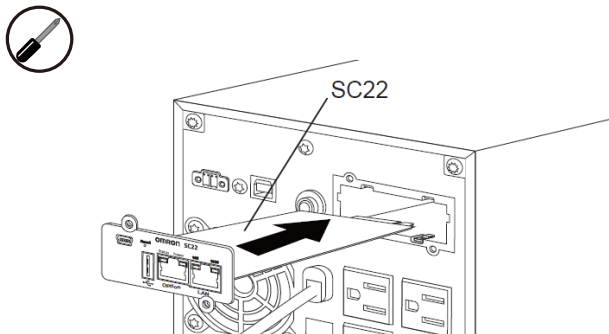
4. UPS への取り付け

UPS 本体背面のオプションスロットに本製品を取り付けます。
オプションスロットの位置は機種毎に異なりますので、詳細は UPS の取扱説明書をご確認ください。

1. 本機の電源を切り、「AC 入力」プラグを電源コンセント(商用電源)から抜いた状態で、ねじ(2本)を外してオプションスロットのカバーを取り外します。



2. SC22 をゆっくり挿し込み、ねじ(2本)でしっかり固定します。



注意 挿入方向を確認し、無理に押し込まないでください。

3. UPS の「AC 入力」プラグを電源コンセント(商用電源)に挿してください。

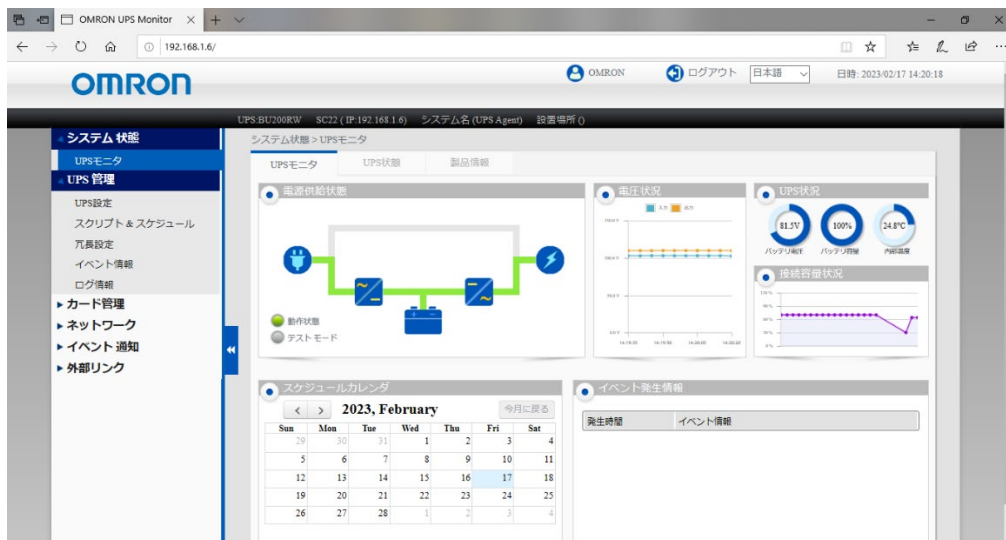
5. 主な機能と概要

■ UPS 制御機能

- ・ ネットワーク経由で即時またはスケジュールによるシャットダウンや起動を行うことができます。
- ・ 当社 仮想化環境専用自動シャットダウンソフト「VirtuAttendant」を併用することにより仮想化環境をシャットダウンすることができます。

■ UPS 監視、モニタ機能

- ・ UPS より入出力の電圧や周波数、バッテリー状態、接続容量などの情報を取得し、UPS の動作状態を監視することができます。
- ・ ブラウザを使用しネットワーク経由で UPS の稼働状況を確認することができます。



【UPS モニタ画面】

■ 通知機能

- ・ UPS が入力電源異常やバッテリー劣化、故障などを検知すると、SNMP (Trap) やメールにより発生しているイベントを通知することができます。

■ スクリプトシャットダウン機能

- ・ 自動シャットダウンソフトをインストールできないアプライアンスサーバや UTM などをシャットダウンできます。
- ・ ユーザーにて、プリセットされているスクリプトファイルの編集や、新たなスクリプトファイルの追加ができます。

■ PoE ポート制御機能

- ・ マネジメント PoE スイッチに接続された IP カメラやアクセスポイントなどがフリーズした時、対象の PoE ポートを自動で検出および PoE 給電の制御 (OFF/ON) を行い、フリーズを自動で復旧できる場合があります。

■ 冗長機能

- ・ SC22 のみで冗長電源構成を構築することができます。

■ 死活監視機能

- ・ ICMP を使用して接続している機器の応答を確認し、その監視対象の機器から応答がない場合は、UPS の出力コンセントの制御 (OFF/ON) や、UPS を自動再起動して接続機器を自動的に復旧できる場合があります。

- ログ機能
 - ・ SC22 が検知した UPS のイベントや UPS から収集したデータをログに記録できます。
- 無線 LAN 機能
 - ・ 無線 LAN アダプタを接続することで、無線 LAN によるアクセスができます。
- USB メモリ機能
 - ・ USB メモリを接続することで、SC22 内のログを USB ストレージに保存することができます。
- 当社 仮想化環境専用自動シャットダウンソフト「VirtuAttendant」対応
 - ・ VirtuAttendant (有償) を使用することにより、Nutanix (AHV/ESXi)、および VMware vSphere ESXi で構築した仮想化環境をシャットダウンすることができます。
 - ・ 仮想化環境専用自動シャットダウンソフトに関しては、当社ホームページをご確認ください。
https://socialsolution.omron.com/jp/ja/products_service/ups/product/soft/virtuattendant.html

詳細は「ネットワークカード SC22 取扱説明書」をご確認ください。

「ネットワークカード SC22 取扱説明書」は、当社ホームページにてダウンロード提供しております。

6. ネットワーク設定

本製品は、IP アドレスを固定しています。

ご環境に合わせて設定を変更してください。



なお、設定方法については、製品同梱の「ネットワークカード SC21 セットアップガイド」をご確認ください。

ユーザー名 / パスワード		
ユーザー		OMRON
パスワード		admin
ネットワーク設定		
IPv4	IP アドレス	192.168.2.150
	サブネットマスク	255.255.0.0
	ゲートウェイ	192.168.2.1
IPv6	無効	

7. 安全上のご注意

安全に使用していただくために重要な内容が書かれています。設置やご使用開始の前に必ずお読みください。

● 本取扱説明書の安全についての記号と意味は以下の通りです。


	警告	正しい取り扱いをしなければ、軽傷・中程度の傷害を負ったり、万が一の場合は重傷や死亡に至る恐れがあります。 また、同様に重大な物的損害を受ける恐れがあります。
	注意	正しい取り扱いをしなければ、軽傷・中程度の傷害を負ったり、あるいは物的損害を受ける恐れがあります。

※ 物的損害とは、家屋・家財および家畜、ペットなどにかかわる拡大損害を示します。



: 禁止 (してはいけないこと) を示します。たとえば  は接触禁止を意味しています。



: 強制 (必ずしなければいけないこと) を示します。たとえば  はアース接続 (接地) が必要であることを意味します。

なお、注意に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性もあります。

いずれも重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。



警告 (設置・接続時)

本製品の取り付け、取り外しを行う際は、必ず UPS 本体と接続機器の電源を切り、AC 入力プラグを電源コンセント (商用電源) から抜いた後に行う。

- 感電の恐れがあります。
- 商用電源の供給停止については UPS 本体の取扱説明書を参照してください。



本製品の取り付け、取り外しを行う際は、UPS 本体を安定した水平な場所、頑丈な場所に設置して作業を行う。

- 転倒や落下にご注意ください。巻き込まれるとけがをする恐れがあります。また、衝撃でバッテリーが



発熱、発煙、破裂、発火する恐れがあります。

- 落下させた場合はすぐに本製品の使用を中止し、点検、修理を依頼してください。点検、修理については UPS 本体の取扱説明書を参照してください。

本製品を UPS 本体へ差し込む際は、差し込み方向を確認し、無理に差し込まない。

- 本製品や UPS 本体が故障し、感電や火災の恐れがあります。



本製品の取り付け、開梱、取り外しを行う際は、基板端面、基板上の部品に触れない。

- 基板端面や部品は鋭利なため、触れるとけがをすることがあります。
- 部品が高温になっているとやけどをする恐れがあります。
- 本製品は静電気に敏感な部品を使用しています。特に UPS 接続端子に素手で触れないでください。



保管および使用環境が仕様範囲を超えないようにする。

- 本製品が故障したり、火災を起こしたりする恐れがあります。

環境仕様

動作周囲温度/ 湿度 -10 ~ 55°C/10 ~ 90%RH (無結露)

保管周囲温度/ 湿度 -20 ~ 55°C/10 ~ 90%RH (無結露)



**警告(設置・接続時)**

次のような場所に設置しない。

- 本製品が故障、劣化したり、発煙、発火により火災を起こす恐れがあります。
 - ・隙間のないキャビネットなど密閉した場所
 - ・可燃性ガスや腐食性ガスがある場所
 - ・直射日光が当たる場所
 - ・ストーブなどの熱源から直接加熱される場所
 - ・極端にほこりの多い場所
 - ・導電性のほこりがある場所
 - ・振動や衝撃が加わる場所
 - ・塩分や水滴がある場所
 - ・屋外など



異常発生時(異臭・異音、発煙・発火、液体(電解液)漏れなど)は UPS 本体の電源を切り、商用電源の供給を止める。

- AC 入力プラグは電源コンセント(商用電源)からすぐに抜ける状態で UPS 本体の近くに設置してください。
- 商用電源の供給停止については UPS 本体の取扱説明書を参照してください。
- 接続機器の保守時なども、安全のため上記に準じて実施してください。



確実にアース接続(接地)する。

- UPS 本体および接続する機器のアース端子をアースに接続してください。アース接続(接地)を実施しないと、故障や漏電があった場合に感電する恐れがあります。また、アースを接続せずに他の機器と UPS 本体に同時に触れると感電する恐れがあります。
- UPS 本体を電源コンセント(商用電源)に接続する際は、コンセントとプラグの形状を確認の上、AC 入力プラグをそのまま差し込んでください。
- 3P-2P 変換プラグをお使いの場合は、圧着端子を確実にアース接続(接地)してください。アース接続(接地)は、必ず AC 入力プラグを電源コンセント(商用電源)に接続する前に行ってください。また、アース接続(接地)を外す場合は、必ず AC 入力プラグを電源コンセント(商用電源)から抜いて行ってください。
- 入力端子台に入力端子を接続する際は、商用電源にアース接続してください。
- サージ保護を機能させるために、アースに接続してご使用ください。



濡らしたり、水をかけたりしない。

- 感電や発煙、発火の恐れがあります。
- 水に濡らした場合はすぐに本製品の使用を中止し、商用電源の供給を止めてください。
- 商用電源の供給停止については UPS 本体の取扱説明書を参照してください。
- 商用電源の供給を止めたら、点検、修理を依頼してください。修理については UPS 本体の取扱説明書を参照してください。



内部から液漏れがあるときは液体(電解液)に触れない。

- 失明や、やけどをする恐れがあります。
- 液体(電解液)が、目や皮膚に付着したときは、すぐに大量のきれいな水で洗い流し、医師の診断(診療)を受けてください。



分解、修理、改造をしない。

- 感電や発煙、発火の恐れがあります。



本製品に取り付けられたボタン電池を取り外さない。

- 乳幼児が飲み込む危険があります。



**注意(設置・接続時)**

本製品は、ファイアウォールなどのネットワークセキュリティ機能を有していないため、本製品をネットワークに接続する場合は、必ずファイアウォールやアクセス権制限などにより、外部からのセキュリティ対策が講じられているネットワーク環境下へ接続する。

保守などを行うために外部からネットワークを通じて本製品へアクセスする場合は、VPN 接続などの手段によりセキュリティを確保したうえでアクセスする。



本製品の USB ポートと Setup ポートを同梱の USB ケーブルで接続しない。

- 機器の故障、接続機器の故障に至ることがあります。



本製品の Option ポートに LAN ケーブルを接続しない。

- 誤って接続した場合、ネットワーク機器が故障する可能性があります。



本製品の USB ポートには、指定の USB 機器以外は接続しない。

- 機器の故障、接続機器の故障に至ることがあります。

**【本製品の処分について】**

- ・本製品を処分する際は、重要なデータが流出するトラブルを回避するために、本製品の設定値を初期化してください。データの初期化方法については「SC22 ユーザーズマニュアル」をご確認ください。
- ・ビニール袋に入れて、市町村が指示する分別ルールに従って正しく処分してください。
- ・法人の方は、産業廃棄物として処分してください。